

林業普及現地情報  
2012-11号(通算169号)  
平成24年11月26日  
大船渡農林振興センター  
記述者 上部明広

## 公共建築物木材利用促進法に関する勉強会の開催

平成22年10月に公共建築物等における木材利用の促進に関する法律(以下「公共建築物木材利用促進法」)が施行されたことにともない、木材需要の増加が見込まれることから、公共施設等の木造化や公共建築物木材利用促進法に関する講演と意見交換を行いました。

### 1 事業概要

勉強会は、平成24年9月5日に、大船渡市のカメラホールで、気仙地方林業振興協議会、大槌・気仙川流域森林・林業活性化センター、大船渡農林振興センターの共催で開催しました。

### 2 講演概要

- (1) 株式会社リンデンバウム遠野 代表取締役社長 立花 功  
「遠野市HOPE計画と公共建築物の木造化」(図-1)

遠野の住まいやまちづくりのため、市民が主体となり作成した遠野市HOPE計画の概要、この計画の実践のために株式会社リンデンバウム遠野が担った役割、公共施設等での木材利用の取組みについての講演が行われました。

また、震災復興のため仮設住宅建設や上閉伊地域の被災地復興支援モデルにおける復興住宅の取組みについての講演が併せて行われました。

- (2) 大船渡農林振興センター 林業振興課長 小原 誉

「公共建築物における木材利用の促進について」

毎年建築される公共建築物のうち、低層建築物の半分を木造化すると、木材利用量が70~80万m<sup>3</sup>増加すると見込まれること、公共建築物の施工に当っては、建築基準法等の関係法令の遵守が必要であること、今後の課題等についての講演が行われました。

### (3) 意見交換

震災復興支援の取組み、公共建築物木材利用促進法に基づく市町村方針の取組状況等に関する意見交換が行われました。

### 3 今後の予定

今後も公共建築物での地域材の利用を促進するため、勉強会等を継続して開催する予定です。



図-1 立花代表取締役の講演